

【住民参加企画】

まちのこえ



～広報広聴委員が聞く～

札内春日町にある「株式会社ミラータイム」の代表取締役・小林崇晶さん、取締役・渋谷亮平さんにお話を伺いました。
【2010年障がい福祉サービス事業に取り組むNPO法人を設立。翌年、株式会社を設立。現在、札内4カ所、帯広市6カ所の事業所を運営。】



(左から) 渋谷さん、小林さん

◆事業を立ち上げたきっかけを教えてください

◇将来、障がいを持っている方のためになる仕事に就きたいと思っていました。生まれ育った幕別町で恩返し、貢献をしていきたいです。

◆どのような事業所ですか？

◇障がいを持っている(知的・精神・身体・発達)方が継続して住み慣れた地域で暮らしていけるようお手伝いさせていただいています。現在、10代～60代の約70名の方が通所による余暇支援や就労支援、グループホーム、相談支援等のサービスを利用しています。



本の製本作業(フィルム貼り)の様子

◆ミラータイムで実施している事業の一つである就労継続支援B型事業所「PPC」では、どのような事をされていますか？

◇パソコンの技術向上、カラスよけサークル製作のほか、名刺や年賀状など、印刷や製本全般をお受けしています！(何枚からでもOK)。

また、全国初の試みとして学校や図書館の本の製本を行っています。

◆町や議会に要望等ありますか？

◇介護保険サービスは、近年周知されていますが、障がい福祉サービスについては知る機会が少ないと感じています。皆さんに実情をもっと知っていただきたいと思います。

(聞き手 若山和幸 小島智恵)

編集後記

新しい年を迎えました。今年は開町120年、合併10年、新庁舎の完成と記念の年になります。

今回の議会だよりでは、道外研修報告が掲載されています。それぞれの委員会で先進地研修をしてまいりました。わが町との違いを目にして感じる事ができ、得るものが多くありました。

今後、住民皆さまが「住んでいて良かった」「住み続けたい」と思える町づくりをするためにも、皆さまからのご意見をお寄せいただきますことをお願いいたします。

東口隆弘

議会広報広聴委員会

委員長 谷口和弥 副委員長 岡本眞利子

委員 板垣良輔 荒 貴賀 小田新紀 内山美穂子

若山和幸 小島智恵 東口隆弘

〇お知らせ

図書館で会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

議会を傍聴して

札内青葉町 堀口 利雄

幕別町議会が開催されるのを知り、友達(初体験)と傍聴に出かけました。始まる前に鐘が鳴り、議場は閉鎖され一瞬緊張が走りました。

私の生家は農業者であったので、農政には強い関心があります。もちろん、TPPの行方も食の安全・安心から私たちにとって身近なことだと思いますので、どんな質問、答弁が行われるか興味がありました。私は70歳を過ぎていますから長寿社会の質問、答弁も気になりました。議員がどのような活動をしているかと様子を拝見することも大切でしょうし、理事者がどう「カジ」をとって進めて行こうとしているかも知ることができました。

